10m歩行テスト｜測定記録

目的：歩行速度を、再評価時に再現できる条件とセットで記録する。A4・実寸印刷推奨

患者ID：_____ 評価日時：_____ 評価者：_____

疾患・病期：_____ 生活上の目標：_____

01 測定条件 / 前回と同じ条件かを確認

計測距離 d：☐ 6m ☐ 10m ☐ その他 _____m　コース全長：_____m

加速区間：_____m 減速区間：_____m　開始：☐ 動的 ☐ 静止

計時基準（足部など）：_____ プロトコル名・版：_____

補助具・装具・靴：_____

介助・見守り（最大介助量／支持部位）：_____

服薬後：_____時間_____分 ☐ ON ☐ OFF ☐ 不明 ☐ 対象外

疼痛・疲労・体調／声かけ・キュー：_____

02 測定値 / 速度 v ＝ 実際の計測距離 d ÷ 時間 t

条件	時間 t（秒）	速度 v（m/s）	歩数（任意）	介助・すくみ・停止など
通常 1				
通常 2				
最大 1				
最大 2				

通常速度の平均：_____m/s　最大速度の平均：_____m/s

☐ 各試行の速度を平均 ☐ その他：_____ 有効試行数：通常___／最大___

平均は未丸め値から算出し、表示は小数第2位など施設内で統一。

☐ 完遂 ☐ 未実施 ☐ 中止 ☐ 算出不能　理由：_____

中止・除外した試行と理由：_____

未実施を0m/sと混同しない。採用プロトコルで0を記録する場合は理由を併記する。

10m歩行テスト｜経時記録

患者ID：_____　比較する速度条件：☐ 通常 ☐ 最大（条件別に記録）

03 経時変化 / 同条件の変化と、条件変更後の能力を区別

日付	速度 m/s	変化量 m/s	補助具・介助／条件変更	生活でできたこと・課題

比較対象日：_____　同条件：☐ はい ☐ いいえ（相違：_____）

使用するMDC／MCID：_____m/s 対象・病期・出典：_____

数値の解釈と患者本人の実感：_____

04 次の目標と引き継ぎ

生活目標（場所・距離・介助・頻度）：_____

介入方針／追加評価：_____

次回評価予定：_____　多職種へ共有する点：_____

解釈のチェック / 速度だけで判断を完結させない

☐ 計測距離・速度指示・補助具・介助・服薬状態をそろえて比較した。

☐ MDC（誤差）とMCID（意味のある変化）を分け、対象・条件を確認した。

☐ 0.8m/sを超えたことだけで、転倒リスクや屋外歩行の安全性を判断していない。

☐ すくみ・停止・中止を隠さず記録し、生活場面の変化を確認した。

参考：ANPT 10mWT core measure (2018) ／ Tilson et al. (2010), doi:10.2522/ptj.20090079

0.16m/sは発症後20〜60日の脳卒中研究に基づく参考値。全患者共通の合否基準ではない。